

「東北厚生局生活支援体制整備セミナー」

グループワークの進め方と課題

SC と協議体が一体となり、 助け合い活動を創出しよう

●進め方説明（10）

各グループで、課題についてワークショップを行います。

全体的な流れは進行役がガイドします。課題に対する意見は配布された付箋用紙に記入し、できるだけ多く出すようにします。

出された意見はワークシートにまとめます。

出された意見を否定することはせず、自由に様々な意見を出し合ひましょう。

●議論（50）

【課題】

住民のニーズが高いのが居場所とボランティアによる生活支援などの活動です。生活支援コーディネーター（以下 SC）と協議体が一体となり、2つの活動を地域に創出していくには、誰にどのように協力をしてもらい、どのような方法で創り出せばいいのかを話し合ってください。

- ① 人：中心になるメンバーや仲間をどうするか
- ② もの・場所：活動拠点や活動に必要なものをどうするか
- ③ おかね：立ち上げるにあたっての費用や運営経費などどうするか
- ④ 情報（活動に参加協力する人など）：協力者、参加者をどう集めるか
- ⑤ その他

助け合い活動の創出に向けて、具体的に人、もの、おかね、情報など SC と協議体としてどのように支援をしていけばいいのかを議論します。

●発表・情報共有（20）

- ・ 1グループ3分×6グループ程度